



高断熱アルミサッシ サマルII 雨戸サッシ〔外付型〕 取付け説明書

MAH-618 2類 2003年10月1日発行

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。 ※内は、ロットNo.表示位置を示します。

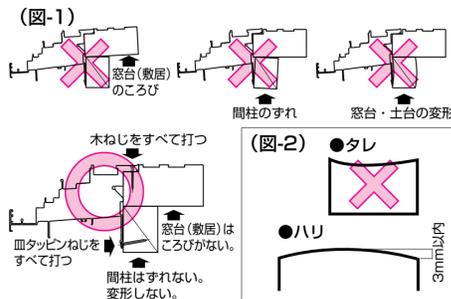
■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 障子落下や思わぬケガの原因となるおそれがありますので、下記項目をお守りください。
 - ・本製品は複層ガラス使用のため、重量が最大で約80kgになります。重量に見合った人数で作業してください。
 - ・本製品はかなりの重量があるため、必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱で開口部を作ってください。サッシ下枠が垂れ下がるおそれがあります。
 - ・上枠のハリは3mm以内に抑え、タレはないようにしてください。(図-2)
 - ・開口部を付け枠等でふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取り付けてください。
 - ・取付けねじは必ず締め付けてください。下枠が外側にころぶおそれがあります。(図-1)
 - ・必ず外れ止め調整ねじを上げてください。
 - ・側板ブラケットは、柱などの構造材または補強した個所に取り付けてください。
 - ・〈4枚建の場合〉外壁材の上から側板ブラケットを取り付ける場合は、φ3.3以下のドリルで下穴をあけ、コーキング材を充てんしてから木ねじで固定してください。(最大壁厚40mm)
 - ・〈6~8枚建の場合〉戸袋に入る雨戸の重量が重くなるため、ブラケットは上枠・下枠・側板用のすべてを躯体に取り付けてください。(外壁の上から取り付けられません。)
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記項目をお守りください。
 - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。(本文中の図参照)
 - ・鏡板戸袋タイプの場合は、組立て後、戸袋屋根・戸袋皿板・戸袋側上部ジョイントブロックの指定個所に、必ずコーキング材を充てんしてください。(組立て説明書参照)



■取付け上のお願

- 必ず指定の皿タッピンねじ・木ねじで枠を躯体に固定した後、障子を建て込んでください。
- 樹脂部材をねじ止める場合は、ねじは2.5±0.5N・m(25±5kgf・cm)のトルクで止めた後、ゆるみ、がたつきのないことを確認してください。

■取付けねじ一覧表

皿タッピンねじφ4×35	丸木ねじφ3.8×20	下枠アングル固定段付き木ねじφ3.8×32
バインドタッピンねじφ4×35	スクリュー釘φ2.1×32	丸木ねじφ3.8×38

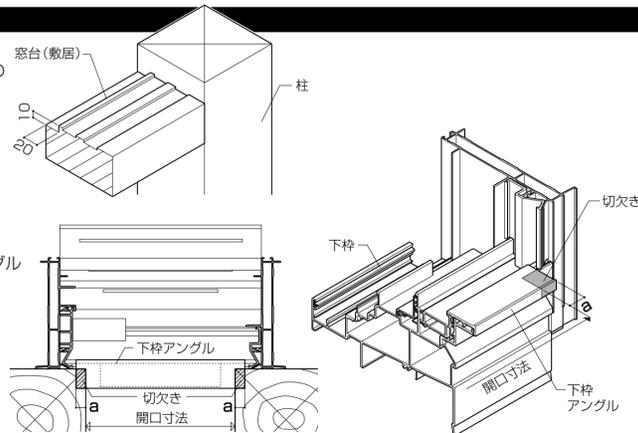
■取付け順序

1 躯体の加工

■取付け詳細

1 躯体の加工

- 窓台(敷居)に下枠アングルの取付け溝を掘り込みます。



2 下枠アングルの切断

2 下枠アングルの切断

- 開口部に合わせて、下枠アングルを切り欠きます。

【鏡板戸袋タイプ】

3 サッシ枠の固定

【鏡板戸袋タイプ】

3 サッシ枠の固定

- ①開口部の水平・垂直を確認し、サッシ枠を仮止めします。

- ②下げ振り・水準器でサッシ枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
※躯体と下枠の間にすき間が発生した場合は、必ずかき物等で調整してください。

▲注意

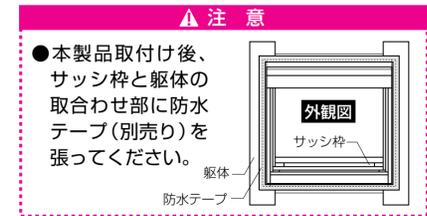
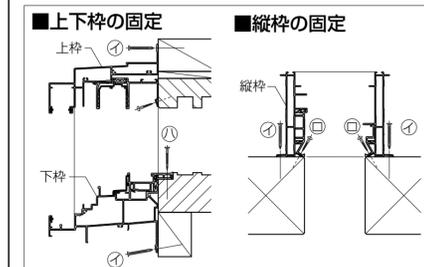
- 取付けねじは確実に締め付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落する等の不具合が発生することがあります。



4 サッシ枠と戸袋枠の連結

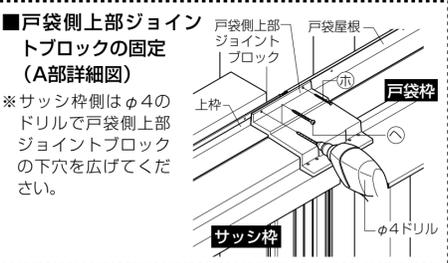
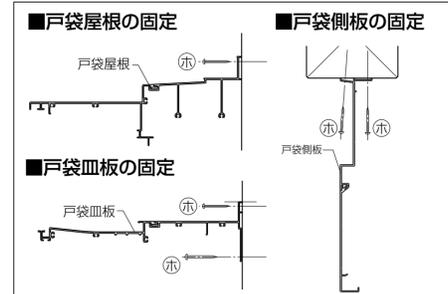
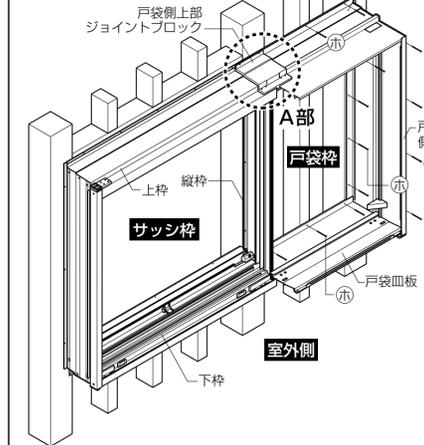
※組立て説明書を参照してください。

5 戸袋枠の固定



5 戸袋枠の固定

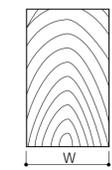
- 戸袋枠・戸袋側上部ジョイントブロックを躯体に固定します。



6 内張り耐水ペニヤの取付け

6 内張り耐水ペニヤの取付け

- ①表の寸法に従って切断し、戸袋枠内部の躯体に釘で固定します。



呼称	H寸法
07	778
09	978
11	1,178
13	1,428
15	1,628
18	1,878
20	2,078
22	2,278

呼称	W寸法
063	595
094	910
099	955
102	985
103	1,000

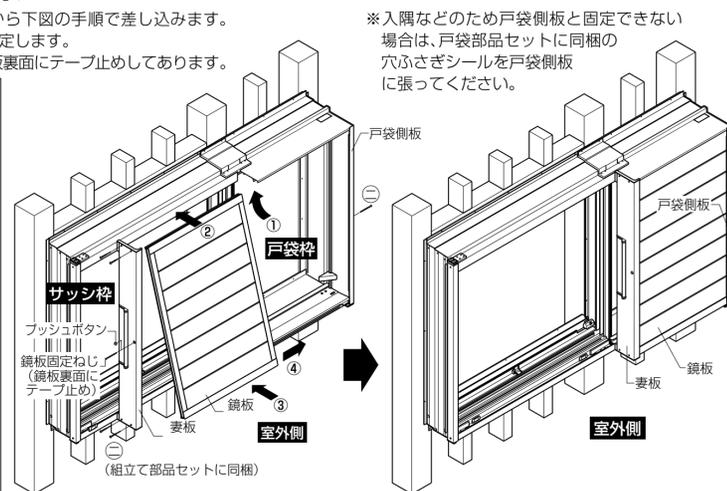
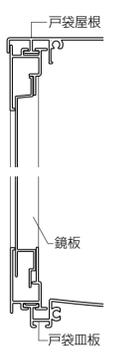
7 鏡板・妻板の取付け

7 鏡板・妻板の取付け

- ①鏡板をサッシ枠側から下図の手順で差し込みます。
 - ②妻板・戸袋側板と固定します。
- ※鏡板固定ねじは、鏡板裏面にテーブ止めてあります。

■鏡板の差込み

※上枠側から先に入れてください。



※入隅などのため戸袋側板と固定できない場合は、戸袋部品セットと同梱の穴ふさぎシールを戸袋側板に張ってください。

【鏡板なしタイプ】

1 サッシ枠・戸袋枠の固定

3 障子の建込み

【鏡板なしタイプ】

1 サッシ枠・戸袋枠の固定

- 枠を取付け面に当てて側板ブラケットの出幅を調整します。側板ブラケットを躯体に固定し、枠を仮止めします。下枠の水平を出した後固定します。

▲注意

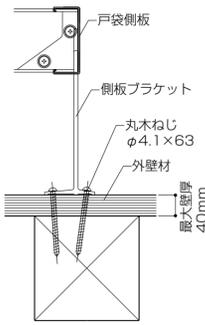
- 側板ブラケットは、柱などの構造材または補強した個所に取付けてください。

■4枚建の場合

外壁材の上から側板ブラケットを取り付ける場合は、φ3.3以下のドリルで下穴をあけ、コーキング材を充てんしてから木ねじで固定してください。(最大壁厚40mm)

■6~8枚建の場合

戸袋に入る雨戸の重量が重くなるため、ブラケットは上枠・下枠・側板用のすべてを躯体に取り付けてください。(外壁の上から取り付けられません。)

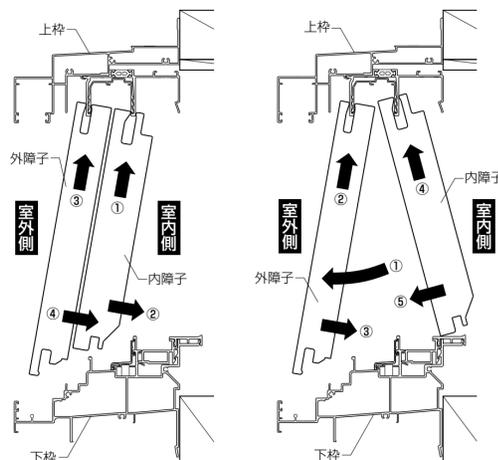


3 障子の建込み

- 下図の手順で障子を入れます。※枠と障子の位置関係は納まり図を参照してください。

【室外側からの建込み】

【室内側からの建込み】



■雨戸の建付けと縮まり受けの調整

■雨戸の建付け調整

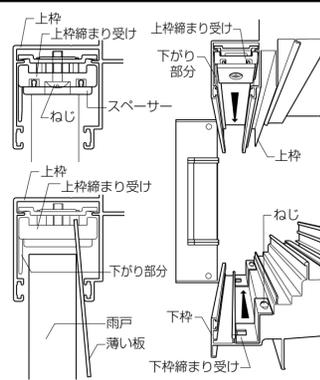
- 雨戸の戸車で建付け調整をします。雨戸が縮まり受けに当たる場合は、スペーサーをスライドして外します。

■上枠縮まり受けの調整

- ①上枠縮まり受けを止めているねじをゆるめ、移動できるようにしておきます。
- ②雨戸をすべて閉め、縮まりのロッドを上げます。
- ③直尺などの薄い板を雨戸と上枠の透き間から差し込み、上枠縮まり受けをロッドに当たるまで移動させます。
- ④縮まりのロッドを下げ、雨戸をあげます。上枠縮まり受けの位置をずらさないよう下がり部分(右図参照)を指で押さえ、ねじをかるく締めます。
- ⑤縮まりのロッドのかり具合を確認した後、ねじをしっかり締めます。

■下枠縮まり受けの調整

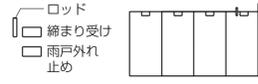
- 下枠縮まり受けの穴にロッド位置がくるよう、ねじをゆるめて調整した後固定します。



■雨戸外れ止めの調整

雨戸外れ止めが右図の位置になるよう、ねじをゆるめて調整した後固定します。
※雨戸外れ止めは、縮まり受けと共通部品です。

□ ロッド
□ 縮まり受け
□ 雨戸外れ止め



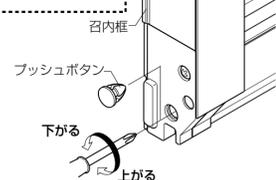
■サッシの建付け調整

■戸車調整

- プッシュボタンをいったん外して調整します。(調整後は、プッシュボタンを押し込んでください。)
- ※出荷時、障子は下がった状態になっております。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

■お願い

※召外下部を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。(部品を下げたすき間をなくします。)



■クレセント調整

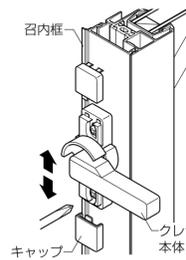
【上下方向の調整】(クレセント本体)

- ①マイナスドライバーでキャップを外します。
 - ②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。

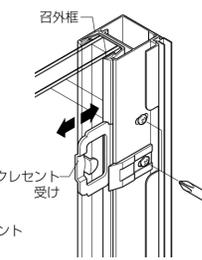
【左右方向の調整】(クレセント受け)

- プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。

【上下方向の調整】



【左右方向の調整】

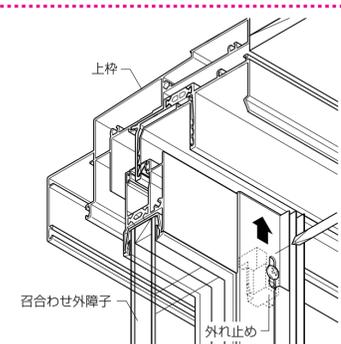


■外れ止め調整

- プラスドライバーでねじをゆるめて、外れ止めを上げます。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。

▲注意

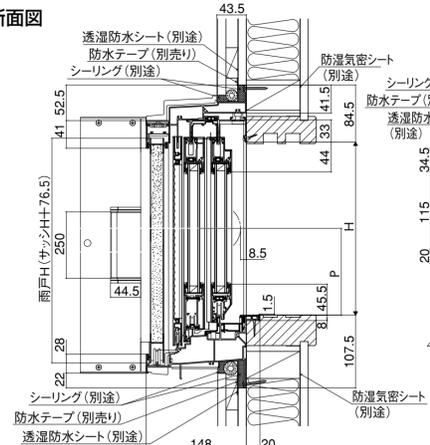
●必ず外れ止め調整ねじを上げてください。障子が落下するおそれがあります。



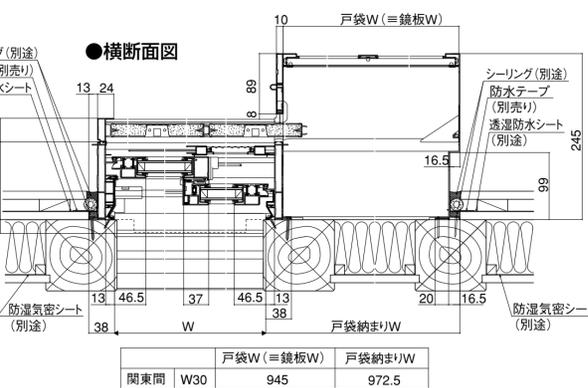
■参考納まり図

【窓タイプ】 ※本図はアングル付き(在来工法)を示します。

●縦断面図

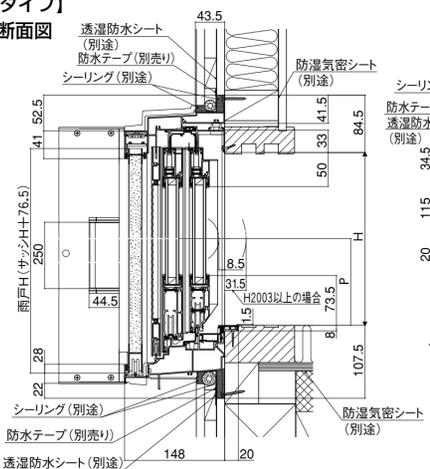


●横断面図



【テラスタイプ】

●縦断面図



●横断面図

